

カブトムシが飛び交う森づくり

～産卵場作りと樹液の出る樹木の植林活動～



28

松阪市森林公園

2023年12月10日に実施

詳細内容は
支部HPへ



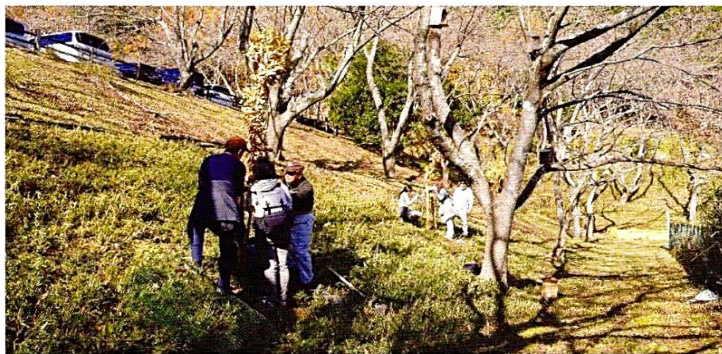
ホダ木を組んで産卵所を作っている様子



ボランティアの皆さんで添え木を設置



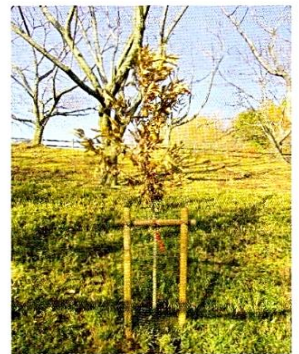
カラス等の被害対策としてのネット張り



樹木医である森のせんせいの指導を受けての植樹活動の様子



産卵所の幼虫の様子



添え木、鹿よけネットの設置

ねらい

- ・カブトムシをテーマにして樹木の多様性について考える
- ・原木椎茸がクヌギ等の広葉樹で育てられていることを知る
- ・森林の役割について知る

取組内容

今回は子どもたちに人気のカブトムシをテーマにして、樹液が出て実のなる広葉樹にスポットを当てて取り組みました。

①7月

まずは夏にカブトムシが集まる産卵場作りに取り組みました。森のせんせいに、原木椎茸を育て終わったホダ木を用意いただき、参加者の皆さんとカブトムシが産卵しやすい環境作りに取り組みました。

②12月

地域で植樹のボランティア活動がされている松愛会(パナソニックOB会)の皆さんと一般参加の方にお手伝いいただき、樹液が出てドングリの木として、そして原本シタケ栽培にも活用されているクヌギの木を6本、産卵場近くに植樹しました。害獣対策として鹿よけネットも取り付けました。

実施月	① 7月、② 12月
内容	・カブトムシの産卵場作り ・植樹活動
時間	2日間
場所	園内
対象	子ども～大人：① 10人、② 24人
講師	①森のせんせい：青木茂氏 ②森のせんせい：末良学氏
備考	園内にある自動販売機の売上を「自然観察活動基金」として活用

【児童の反応】 山には、木材として活用できるヒノキやスギ等の針葉樹、サクラなどの花や紅葉を楽しむ樹木、そしてドングリの実や樹液が出る広葉樹等があることを学んでもらえたようでした。

【担当者のコメント】 多様性が重んじられる時代になり、この針葉樹や広葉樹、常緑樹等様々な樹木を育てる活動を通じて、健康で豊かな森づくりへの啓蒙活動に繋がっていきたいです。